



特集 5 東日本大震災への対応

2.2 放射線量モニタリングシステムの提供(株式会社NTTデータ)

〔概要〕

放射線量測定装置は、放射線量センサーと気象センサー(風向・風速・雨量・気温・気圧・湿度、露点)を搭載したAタイプと放射線量センサーのみを搭載したBタイプの2タイプあり、いずれも3G通信モジュールを搭載しており、観測データを1時間ごと(Aタイプについては、10分おき)にデータセンターへ送信している。送信されたデータは、即時にWebで公開しておりインターネット経由によりパソコンや携帯電話で確認ができる。

放射線量測定装置は、両タイプとも太陽光パネルと内臓バッテリーを搭載しており、可搬型のため商用電源の引き込みが出来ない地域でも観測可能である。

設置自治体および測定装置のタイプは以下のとおり。

自治体	観測地数	
	Aタイプ	Bタイプ
浪江町	1	2
大熊町	1	1

※線量率範囲:0.01 μ Sv/h~10mSv/h

〔コラム〕

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、太平洋沿岸部の自治体は、甚大な被害を受けた。災害の影響が広範囲かつ長期にわたって継続するなかで、NTTデータは、NTTデータグループのもつシステム・サービス・技術・ノウハウを活用した復興支援活動を実施していくこととした。

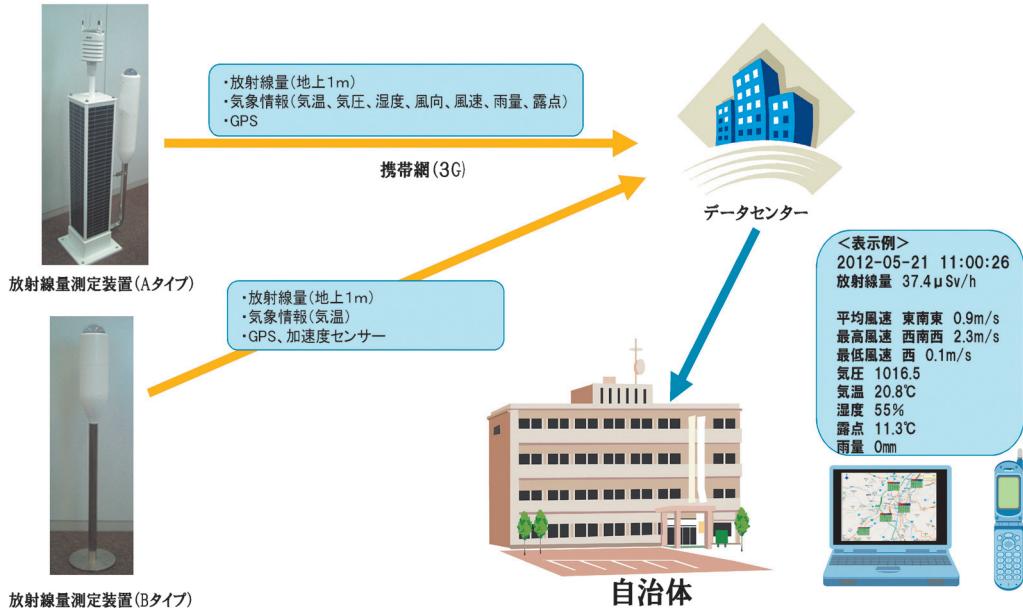
その活動の1つとして、福島大学と連携しラジオゾンデによる大気の放射線観測を支援することとなり、4月13日から5月2日の20日間観測を実施してきた。

その支援活動を通じ、放射線レベルの高い地域で、自治体職員が放射線量の計測を毎日行っている事実を知り、放射線量の自動観測について検討を行ってきた。

平成23年12月から、2自治体5地点で気象観測と放射線量観測を開始しデータ収集と住民への公開を実施している。現在は、福島大学が運用を継続している。

2. 被災地域におけるICT利活用の取組事例の紹介

(システム構成)



(設置風景)



(問い合わせ先)

株式会社NTTデータ リージョナルビジネス事業本部
e-コミュニティ事業部 ホームランドセキュリティ担当
〒135-8671 東京都江東区豊洲3-3-9 豊洲センタービルアネックス
電話:050-5546-2450/FAX:03-3532-0910
E-Mail:kawat@nttdata.co.jp